



ERFC Newsletter

ユーノスロードスターファンクラブ通信 2012 vol.1

E. R. F. C. 清里ミーティング報告号

『E.R.F.C.清里ミーティング』へのご参加ありがとうございました！

すでに年も年度も変わり、新緑の季節から梅雨に入った今日この頃。雨の中での開催となった2011年の清里ミーティングは、気がつけばもう半年以上も前のこと。大変遅くなってしまいましたが、多くの皆様のご参加ありがとうございました。

震災の発生もあって、一時は開催についてもどうするべきかと思ってもいた清里ミーティング。今回は「復興支援」をテーマに私たちに何ができるのかと、ほとんど手探りで企画を進めていたわけですが、本当に多くの皆様のご賛同とご協力をいただいて予想以上の結果を得ることができました。



開催直前に急きょスペシャルなゲストが決まるなど我々も予想しなかったサプライズもあって、結果としてイベント全体としてロードスター色も薄くならず結果としていつもの清里ミーティングとなりました。欲を言えば、午前の写真撮影の時だけしかやまなかったあの雨が……。いや、あのタイミングだけでも雨がやんだことを喜ぶべきかもしれませんね。

では、いまさらですが清里ミーティングの報告をお送り致します。

(E. R. F. C. 清里ミーティング実行委員長 まめぞう)

「会長より一言」

雨に降られた清里ミーティングもすでに昨年のことになってしまいました。ご挨拶が遅くなってごめんなさい。参加して下さったみなさん、今年もよろしくお願ひします。残念ながら参加できなかったみなさん、あけましておめでとございます。(※編注：原稿は年明け早々にもらっています)

今回は新しい試みとしてチャリティオークションなんてことをしてみました。最初のうちはごちない感じだったけど、ゲストの田中さんと競り合ったりしてそこそこ盛り上がったし、毎年やったら参加者のみなさんもだんだん慣れてきてもっと盛り上がるんじゃないかと思ったりもしますが、いかがでしょうか？今年の清里に向けて、もしほかにいい出し物が思いつかなかったときは、いいものを持ってきてください。みなさんよろしくお願ひしますね。

(ひでまろ)

では、今回の講演会の様子を、午前の部を仕切ってくれた高根君からの報告で。

「今年は講演会がないのであれば、僕も下準備やら構成やら考えなくて済むので隠居気分であられるなあ!?!」…なんてノンキに思っていたら、開催 10 日前になって事態が一変しました。ERFC と姉妹&協力関係にある「クラブ J58G 広島」の佐竹会長から携帯に一報が。

「田中さんが行きたい言うとりんよ!!」

その「田中さん」とは、NA ロードスターやセンティアのデザインを手がけた元マツダデザイン本部の田中俊二さんのこと!!

ここ数年、講演会のゲストとして快諾はいただいていたものの、マツダ在籍時代以上に仕事やプライベートで多忙を極めており、その動向が難しい状況が続いておりました。それがようやく最近になって落ち着いたことでジックリ話せるようになったとのこと。

前回までの開催直前になってのキャンセルは彼自身にとっても不本意であったし、それらのお詫びも兼ねて、今まで話せなかった「本当の話」をぜひ清里でしたい!! という強い要望で、事前告知の予定を大幅変更して実現した形になります。



田中さんによれば、これまで発行された数々の開発ストーリー本では、どうしても伝え切れていない、あるいは事実と異なる!?! さらに言うと、せっかく書いてもカットされてしまった部分が多々あるとのこと。そんなところも納得が行かず「事実」に正す狙いもあったのだとか。

実際、あまたあるロードスターの開発話に耳が肥えていたであろう参加者の方々も、田中さんのお話に唸り、時にはのけぞる!?! ような内容だった…とでも言いませんか(笑)。まさに「J58G 22 年目の真実。」といったところ。

特に「開発は決して一枚岩でなかった…」そうハッキリ証言されていたことが、とても印象的でした。

ただ、残念ながらその詳細な内容については活字だけにするとアブナイお話!?! となってしまうので、当日参加された方だけの特権としておきます(笑)。



今回、2 時間程度講演をしていただけですが、それだけではとても伝えられるものでもありません。実は、あらかじめご自身が用意されていたレジュメの、まだ半分も話せていない状態なのです。

今年もまた来られるかは確約できないものの、改めて清里で続きを話す気マンマンです。機会があればアブナイ話? ・ ・ いやいや本当の話、ぜひ皆さんと一緒に楽しみたいと思っていますのご期待ください?

(たかね)

では、以下は例年通りスタッフからの報告を。

「受付より愛をこめて 2011」

今更ながらではありますが、清里ミーティングにお越しいただいた皆様、本当にありがとうございました。今回も受付を担当しましたつのやま@にしです。

さて、どなたもお気づきではなかったかと思いますが、実は今回の受付は史上最大のピンチに見舞われておりました。大人の事情でなんとスタッフ数が半減してしまったのです。しかしスムーズな進行のためにはなんとかカバーしなければなりません。そこで我々は打てる限りの手を打つことにしました。

問題点の徹底した洗い出し、綿密な計画立案、それにもとづく打ち合わせとシミュレーション、そして厳しいトレーニング・・・(もちろんBGMはロッキーのテーマ) 着々と準備を整えていきました。

そんな我々の努力をどこからご覧になっていたものか、ロードスターの女神様(性別は推定)は、開催直前になって助っ人を授けて下さいました！大橋しのぶさん、どうもありがとうございました！

残念ながら当日の天候は不順でしたが、せめて受付では参加者の皆様にご不便をおかけすることにはなかったのではないのでしょうか。これ全てしのぶさん、そしてきっちりと準備して頑張った前田こたろう君のおかげ。いやぁほっとしました。

ところで、今年はお天気も・・・というのは欲張りすぎでしょうか、女神様？

(つの@にし)

「中古車展示場！？」

駐車場係の前田です。今回はあいにくの天気でしたが、皆さんミーティングは楽しんでいただけたでしょうか。駐車場係として今回取り組んだのは、「駐車もし易さ」です。

ご存知の通り、清里ミーティングの際の駐車スペースは、傾斜した牧草地と砂利敷き部分です。砂利敷き部分は特に問題はないんですが、傾斜した牧草地への駐車方法は、これまで安全性を考慮(上からの侵入だと入る車と会場へ上がる人とは交差して



しまう)し、坂の下から上にあがってくる方法を探っていました。しかし朝露や雨で草が濡れるとスリップしやすくなり、待機時間が長くなるという事がしばしばありました。そこで今回はその点を考慮し、あえて上から侵入する方法を採りました。安全性は、適正な人員配置をする事で対処できると判断しました。

初めての試みでしたが皆さんの協力もあり、事故無く停める事が出来ました。参加者の方が言っていました。「中古車展示場みたいだな」(苦笑)。

反省点もありました。それは「ガイドラインのない場所に斜めに停める」という状況で、前に停めた車との間が必要以上に開いてしまった結果、牧草地に停める台数が減って「砂利敷き駐車場」への駐車がいつもより増えてしまったという事。次回はその点を再考しお待ちしております。またお会いしましょう。

(まえだ)

「駐車場風景」

駐車場係お手伝いのなみちゃんです

遅くなりましたが、清里ミーティング参加の皆さんありがとうございました

前年に続いての悪天候、雨に弱い牧草地ですが今回の並べ方はどうだったでしょう？

毎回毎回天候が悪いととてもとても滑る牧草地、事故なく安全に早く駐車してもらおうのってかなりの問題なのです。

今回は色々問題も考えられたけど、切り替えしなしで一発駐車して停めてなかなか良かったのかな？と思ってます。



肝心のミーティングですが緊急ゲストの田中さんの裏？トークで盛り上がり、チャリティオークションにも参戦？していただいたりと楽しい一日となったのではないのでしょうか

生憎の天候でしたが、こんな天気でも楽しめる他のロードスターミーティングとは違った屋内ミーティングを、すべての参加者が来て良かったと思っていただければ幸いです。

(なみちゃん)

「今回の清里弁当は?!」

お弁当係、さっちゃんです。

ミーティングに来て下さった皆様、今回はあいにくのお天気でしたが楽しく過ごしていただけたでしょうか？

お弁当担当としては、毎年お弁当を喜んで頂けたかどうか、というのが気になるものでして、もちろん、今回も気になりつつ感想に聞き耳を立てておりました。「美味しいけど少ないね。」ホントです。

ちょっと少なめでしたよね。私も腹八分目でした・・・。「物足りないなあ。」確かにヘルシーな感じでした。「小さいけど、肉、旨いなあ!」

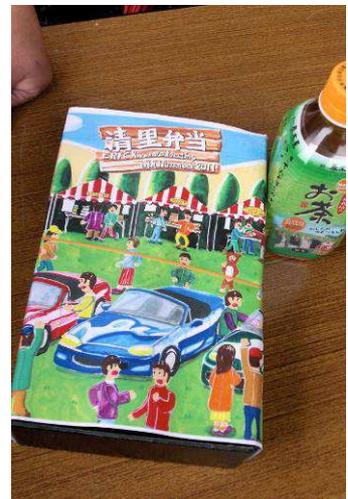
よくぞ言って下さった!!この肉は、肉質の柔らかい甲州ビーフだったのです。でももうちょっと大きいと良かったですよ、確かに。

皆さま、勝手に聞き耳しちゃってすいませんでしたが、貴重なご意見、ありがとうございました。

今回の感想の傾向は「美味しいけど少なかった」といった内容が多かったように感じました。皆さまのご意見を次回のお弁当の参考にさせていただき、今年も昨年以上に美味しいお弁当を目指します。もちろん、作るのは私じゃなく「元気甲斐」で有名な丸政さんなのですが、様々な注文にも快く応じて下さる素敵な丸政さんなので、きっと今年も昨年以上に美味しいものを、と言って下さるはずなので大丈夫です！（と、勝手に太鼓判押してます♪）

今年はこちらの内容を増やした（笑）美味しいお弁当を用意して、清里で皆様に会えるのを楽しみにしています！

(さっちゃん)



「幻の田中さんと「チ〜ン」」

毎年秋に清里に集まること自体が清里ミーティングの目的という、前回、20周年の参加者との合意？に基づき開催を決めた、第22回清里ミーティング。

とはいっても、メインのイベントはどうしようかと、スタッフみんなで考えた末、マツダからのゲストはなし、震災のチャリティオークションをしようという結論でした。初めての試みだったので、いろんな想定はしておきました。特に、その進行方法です。出品者が大切にしてきたグッズのウンチクを語り始めたら、いくら時間があ



っても終わらないだろうと、用意したものがありませんでした。かつて、ゲストへの質問やスタッフの脱線が長すぎたときに使ったこともある、あの「チ〜ン」いうベルです。1分を超えたら、これを鳴らそうというのがスタッフ間での裏の取り決めでした。

そして、当日。ビデオ撮影兼スワップミート兼タイムキーパーつまり「チ〜ン」担当になった私も、おそらく司会者も、緊張しつつ、始まったのですが、ほとんどの出品者の皆さん、思い入れも少なくなったのか？1分以下のアピールです。オーバーした人もいましたが、会場の盛り上がり優先して、結局一度もベルを鳴らすことはありませんでした。

毎回ドタキャン改め、ドタご参加（失礼・・・）となったNAのデザイナー田中さんも、自ら落札するなど、大いに盛り上げていただき、結果は、落札総額約15万円。RCOJの軽井沢ミーティングなみの金額のようですので、大成功でしょう。皆さん、ありがとうございました。

なお、「なんコン」は、なんと史上初の応募者ゼロでした。

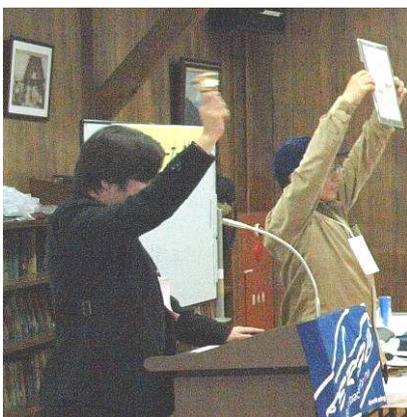
常連のゆうやくんも大学生になり、忙しくて作れなかったとのこと。次回に期待しています！

（カタカイ）

「チャリティオークションご報告」

そんなわけで昨年の裏(?)メイン企画だった「東日本大震災復興支援チャリティオークション」

お陰様をもちまして大成功でした。これも今回の趣旨に賛同いただき応札していただいた皆様はもちろん、そのためにオークションの品を揃えていただいた福田ご夫妻、田中さん、そしてショップの皆様のお力添えの賜物と、スタッフを代表して改めてお礼申し上げます。



しかしこのチャリティオークション、仕切る方としては今回初の試みだったこともあり開催前には正直どうなるのか、そもそも成立するのか？などとかなり不安がありました。私を含めスタッフも出品物を用意していましたが、本当にご賛同の皆様の出品には助けられました。

とはいえ、初めは会場の皆さんも様子を見ながら恐る恐るの応札でした。そのため、田中さんご提供の「わけあり」フロアマット(w)は本来なら目玉商品と言ってもいいものでしたが案外手頃な価格で落札されたり、いつもならじゃんけんの覇者にしか手に入れられない福田ご夫妻手作りのグッズも初めはそこそこの

価格で落札されていったりしました。

その雰囲気を変えてくださったのが田中さん！せっかくのチャリティ企画なんだからと、自らも応札に参加していただき、場の雰囲気を盛り上げていただいたことで、会場の雰囲気も徐々に盛り上がってきました。

じわじわとつりあがる応札金額。財布を覗き込みながら悩む参加者、中にはパートナーやお仲間に借金の相談をしている人もいたとかいないとか。

そうなるオークションを仕切る私の方もがぜん調子が乗ってきます。(笑)

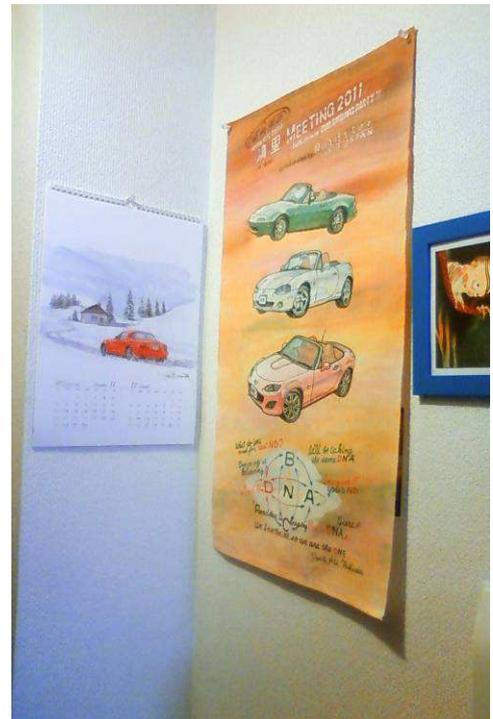
「早くその鐘を鳴らして！」と目で訴える入札者の皆さんの顔色を見ながらも「ないか？もう一声ないか？」と財布と相談する人に呼びかけます。この駆け引きが大変楽し・いや、ほんの少しばかり心苦しいのですが、その追加の1000円が、いや100円が震災の被災者の皆さんのためになると思えば、落札合図の鐘を持つ手に力も入ろうってものです。いやほんと。

そういう私も皆さんに頼るだけではいけないと、仕切る立場でありながら本気モードで応札側としても参加させていただいたのですが、残念ながらその熱意に負けてしまいました。悔しいのでその分は別の形で貢献させていただきましたけどね。

そう言えば、その後のじゃんけんでタペストリーを手に入れられた白川さんから写真が届いています。落札されていったグッズもそれぞれ思い出の品として飾られたり、普段使いに利用されたりしているのでしょうか。

さて、今回の企画によって集まった額はチャリティオークションによる落札総額が147995円。そしてそれ以外の募金額が18400円となっております。

募金額とオークションの落札金額を合わせた全額はお約束通り、日本赤十字社を通じて「東日本大震災義援金」として寄付させていただきました。その際、オークション落札金についてはERFCから端数分を足して15万円とさせていただきました。



 (国内義援金・海外救済金専用)	
No. 44	
日本赤十字社 NIPPON KOKU JIJU	
領収証	
金 18,400- 円	
ただし、東日本大震災 義援金・救済金として、上記のとおり受領いたしました。	
平成 23年 11月 14日	
(ご氏名) この領収証 に基づく寄付 または、国内	救済者
※ご記入いただきました	
 (国内義援金・海外救済金専用)	
No. 45	
日本赤十字社 NIPPON KOKU JIJU	
領収証	
金 150,000- 円	
ただし、東日本大震災 義援金・救済金として、上記のとおり受領いたしました。	
平成 23年 11月 14日	
(ご氏名) この領収証に 記載の金額は 個人については 所得税法、法人 については法人 税法の規定に 基づく寄付金に 該当します。 また、国内義 援金については、 地方税法の規定 に基づく寄付金 にも該当します。	ERFC (ユノロードスターファンクラブ) 様
日本赤十字社神奈川県支部長	
〒231-8536 横浜市中区山下町70-7 TEL. 045(661)2123 / FAX 045(661)2136	
支店長 前田	
※ご記入いただきました個人情報については、日本赤十字社が取り扱う寄付金の募集以外の目的に利用いたしません。	

この義援金は各機関の運営資金などに使われることなく、全額が被災地に分配されます。さすがに被災状況がいまだにつかみきれないほどに大きすぎて、一部地域では被災者への配分が遅れているのも事実ですが、この方法が一番被災者への支援として適切だと判断させていただきました。現在の義援金の総額や被災者への分配状況などは日本赤十字社や厚生労働省のHPで確認することができます。

そんなわけで、ご協力ありがとうございました。震災の発生から一年が過ぎましたが、被災地はまだまだ復旧に取り掛かり始めたばかりです。ぜひ今後ともご支援をお願い致します。

(まめぞう)

「反省文」

毎年、「毎年書いてますが」と書いている気がします、今年も書きます。

受付、今回も全然ダメでした。全然だめというか、ミーティング始まって以来の酷さでした。

あ、ちなみにここで書く受付は、当日受付のことではありません。そっちの受付は、別稿にある通り、完璧だったはずです。

ダメだったのは、事前エントリーの方です。皆さんに、メールやらハガキやらで送っていただく方です。

どんだけ酷かったかって、今回の酷さは例年の比ではありません。もう、一件どころではない受付漏れが発生していたのです！ありえない！

メールでは返事をしてるのに参加要綱一式を送る対象から漏れていたり、送ったつもりのメールすら送ってない上にその後の作業もまったくやっていなかったり・・・

しかも、その全てが、皆さんからの暖かいご指摘のおかげで、サイアクの事態になる前に発見されたのです。逆に言えば、ご指摘いただかなければ、サイアクの事態になっていたのは間違いのないわけです。

なんとも、ありがたいやら情けないやら、で、本当にありがとうございます。

ココまで酷いと、今年どうするとか、決意だ意欲だなんて言うのすら憚られますし、そもそもどうハンセイしていいかわからないくらいで、困りました。とほほ。

せめて、もう一度チャンスがあるのであれば、当たり前なのが当たり前に見える様に、ただただ（自分に）望むだけであります。

しかも、こんなスットコドッコイな年だったにも関わらず、無断欠席が一件も無かったのです。これまた、多分ミーティング始まって以来の出来事です。スバラシイ。ありがとうございます。

こんなスバラシイことが、今年も起こるのであれば、まあ受付くらいスットコドッコイでも・・・イイわけですね。ごめんなさい、でした。

(つのやま)

そんなわけで、スタッフのレポートはここまで。

そして、今回不参加だった三島のまるおさんから昨年中にいただいたリポートが。(^^ゞ

「え？これも反省文？！」

こんばんは、丸尾です

今年の清里ミーティング、凄く良かったらしいですね。

田中さんのお話の件、風の噂で私の耳にも届いております。残念、とても残念！でした。

しょうもこりもなく、ジャンケン大王も君臨したとか・・・

それじゃ来年は参加しなくてはダメですね。(^^)

私の方は、予定通り氷見市へ走ってきましたよ。

11月5日(土)朝6時に三島市を平成元年と平成3年式の2台のNAで三島市を出発し、中央道松本から乗鞍・上高地～安房トンネル、高山市～飛騨清見。東海北陸道で氷見へ。往路8時間でした。ちなみに到着時は雨でした。

まだまだ走るぜ！ロードスター！！(^^)；

氷見では、予約していた「菅隆」さんで地元の魚介類中心のそれはそれは美味しい食事で立山のぬる爛を堪能しました。

翌11月6日、清里ミーティングの日ですね。(^^ゞ

お土産を仕入れて、大雨の中 10 時頃氷見市を後にします。雨天のため山岳高地を避け、R8 を糸魚川に向け走ります。

青森行き的大型トラックの後に付け順調に距離を稼ぎ、糸魚川から南下し長野県に入りました。途中道の駅で信州蕎麦を食べ長野道豊科から高速で帰還しました。

帰路は 19 時着で 9 時間でした。

とにかく走り通しの今回の旅でしたが、やっぱりロードスターは楽しい車でした。

思い残すのは、初めての清里ズル休みですね。

ということで、とても反省して、来年は必ず行きますのでよろしくお願いします。

(まるお@三島)

さ～て！2012 年の清里ミーティングは？

もう開催まで半年を切っていますが、今年の清里ミーティングはまだ何をやるかは決まっています。ただ、とりあえずやるってことだけは、そして開催日だけは決まっています。

今年は **11 月 4 日** の開催を予定しています。ぜひともズル休み等の無いように(笑)今のうちにカレンダーにチェックをお願いします！また開催方針は次回のプレスでお伝えできればと思っています。もうしばらくお待ちください。

『編集後記』

未曾有の大震災の発生から一年あまりが過ぎ、清里ミーティングからもすでに半年以上の時が流れ、気がつけばすでに初夏…。忘れた頃にやってくる ERFC からのプレスであります。おかげで例年なら昨年度中に発送するこの「報告号」が年度が変わった「2012 vol.1」となっていました。記事の中には思っきり季節感がずれたりした原稿も入り混じっておりますが、何が原因と言えは編集担当をしております私の怠慢でございます。まことにもって申し訳ございません。(本号中に参加者の鄭さんご提供の写真を一部使わせていただきました。ありがとうございました)

さて、本文中にも繰り返し書きましたが、チャリティオークションと募金は予想以上の金額が集まりました。本当にありがとうございます。3 月 11 日前後にはテレビやニュースで多くの特番が流されましたが、福島第一原発周辺区域はもちろん、津波の被害にあった東北沿岸部もまだまだ復旧への道筋すら充分に進んでいるとは言えないのが事実です。長いスパンでの支援が必要だということを再認識させられました。

しかし被災地を支援するためには、支援できる立場にある私たちも元気でなくちゃいけません。そう、日本全体が元気をなくしちゃやるべきこともできません。いろいろと信じるべきだと思ってきたものが自らその信用をなくしていく世の中ではありますが、私たち一人ひとりが自ら道を作っていくくらいの気持ちでいく必要があります。

…とか偉そうに書いてますが、なかなか難しいんですよ。そんな風に元気を保っていくのは。(大汗)

ところでこれをお読みの皆さんには元気の素と言えばロードスター(または車)の運転をその一つに挙げる人が多数派とは思いますが、この春には新東名も静岡部分の大半が開通してまたドライブのルートの選択肢が増えました。一方では新型のいわゆるエコカーがもてはやされる半面、大事に乗り続けている低年式車の重量税が上げられるなど、好きな車を長く乗り続ける者にとっては厳しい世の中になりつつあります。

でも、初夏や秋の天気がいい日にロードスターの屋根を開けて走る気持ちよさは何にも代えがたいものがありますよね。いや、私の場合はこの時期だけじゃなくてどんな季節でもなんです。。。

ともあれ、我がロードスターは清里ミーティング前には 11 回目の車検を通して会場入りする予定です。

では、この秋も清里でお会いしましょう。

(E. R. F. C. 清里ミーティング実行委員長 兼 編集担当：まめぞう)



ERFC Newsletter
ユー/スロードスターファンクラブ通信
2012 vol. 1 2012年6月25日発行

EUNOS ROADSTER FAN CLUB 事務局：埼玉県上尾市井戸木4-22-22 角山方
E-MAIL: info@erfc.sakura.ne.jp URL: http://erfc.sakura.ne.jp